

令和元年度

事業計画書

公益財団法人 三重県水産振興事業団

令和元年度事業計画

I. 目的

水産業に関わる社会的、経済的基盤の整備開発及び漁業経営の安定に係る事業を推進し、もって時代の要請に即応した安全で安心な水産物を安定的に供給すること並びに水産業の健全な発展を図るとともに地域経済に寄与することを目的とする。

II. 法人を取り巻く経営環境

当法人は、次のような経営環境にあります。関係機関との連携を図りながら、栽培漁業にかかる円滑な推進に向け、種苗生産等を通じて、県内の水産振興のため各事業に取り組むこととする。

1 外部的な要因として

- ①債券の超低金利状況が継続している
- ②行政機関の財政逼迫により委託費等が削減されている

2 内部的な要因として

- ①種苗生産施設の老朽化に伴う修理、改修費などの経費が増大している
- ②健全種苗の量産化や新たな種苗生産を開発育成する必要がある

III. 令和元年度事業（公益目的事業）

1. 水産種苗生産供給事業

県民に安全で安心な水産物を安定的に供給するため、水産動植物の種苗生産及び中間育成を行い種苗供給する。

2. 水産生物量産化技術試験事業

種苗生産の量産化に技術的課題がある魚種の技術開発試験を行う。

3. 水産振興対策事業

水産資源の維持増大を図るため、漁協が実施する種苗放流事業等に助成する。

4. 啓発普及事業

水産振興に係る協議、調査及び啓発普及などを行う。

5. 資源増大実証事業

水産動植物の種苗生産、中間育成及び放流を実施するとともに、市場での放流魚の混入率を調査し、その効果を明らかにする。

6. 伊勢湾栽培漁業推進事業

伊勢湾沿岸地域の漁協等が実施する種苗生産・放流事業に助成する。また、放流用種苗の中間育成を行い種苗供給する。

7. 伊勢湾水産振興事業

伊勢湾沿岸地域の水産資源の維持増大を目的とした放流とその効果調査及び安定的な漁業経営の育成対策並びに海域の水産動植物の生息域の保全、改善に関する事業に助成する。

IV. 事業内容

1. 水産種苗生産供給事業【予算額 247,722 千円】

1) 種苗生産事業

(1) 三重県栽培漁業センター（以下「浜島センター」という。）において、県から委託されたヒラメ、アワビ、クルマエビ、ヨシエビ、ナマコの種苗生産を行い、県からの指示により種苗を供給する。

その他にアコヤ貝、ピース貝、ガザミを種苗生産する。

浜島センター【56,549 千円】（県から受託）

浜島センター

（千尾、千個）

種苗名	県 委 託 事 業					アコヤ貝種苗生産 飼育管理試験事業		伊勢湾 資源調査 試験事業	種苗生産 事業
	ヒラメ	アワビ	クルマエビ	ヨシエビ	ナマコ	アコヤ貝	ピース貝	ガザミ	アワビ 中間育成
サイズ	30mm	25mm	17mm	17mm	7mm	2mm	2mm	5mm	25mm
計 画	200	76	3,100	3,500	40	680	434	2,200	224

(2) 三重県尾鷲栽培漁業センター（以下「尾鷲センター」という。）において、アワビ、マダイ、トラフグ、カサゴ、マハタ、ヒロメの種苗生産及び中間育成を行う。

マハタ種苗生産については、三重県水産研究所（以下「水研」という。）から基礎技術の移転を受け、東紀州活性化のため、種苗生産及び中間育成試験を実施する。また、出荷魚の全数に VNN ワクチンの接種を行う。

尾鷲センター 【157,028 千円】

尾鷲センター

(千尾、千個)

種 苗 生 産 事 業								
種苗名	アワビ			マダイ	トラフグ	カサゴ	マハタ	ヒロメ種糸
サイズ	15mm	25mm	30mm	30mm	20mm	50mm	130mm	ー
計 画	50	480	247	600	277	72	200	4,330m

2) 種苗供給事業 【34,145 千円】

両センターで生産した種苗を要望のある市町、漁協等に供給する。
 なお、クロダイについては、要望のある市町へ種苗を供給する。

2. 水産生物量産化技術試験事業【予算額 14,067 千円】

1) マハタ、カワハギ種苗生産技術高度化試験事業【2,500 千円】

マハタの種苗生産（中間育成）以降の育成期における形態異常の顕在化率を調査しその要因について検討する。

また、カワハギの稚魚の飼育条件の検討を行い、種苗生産技術の開発研究を実施する。これら調査研究を水研へ委託する。

2) クルマエビ成熟制御技術開発事業【1,950 千円】(JST から受託)

国内の研究機関とタイ王国との共同研究において、クルマエビ科等の基礎技術を開発する。

浜島センターにおいて、クルマエビを用いた稚エビから親エビに至るまでの養成技術を改良するとともに、クルマエビの成熟・産卵を人為的に誘導させるための、ホルモン投与方法や飼料の開発について研究を実施する。

3) アコヤ貝種苗生産・飼育管理試験事業

アコヤ貝種苗生産飼育試験事業 【5,758 千円】

国産貝の中から優秀な形質として選抜された親貝を用いて、アコヤ貝の種苗量産化試験を行う。

4) 海女漁業資源増大技術開発試験事業

マダカアワビ量産化試験事業【859千円】(県から受託)

海女漁の漁業資源となっているアワビ類の資源増大に対する要望が強くなっているため、尾鷲センターで、マダカアワビ種苗を増大させるために種苗生産技術の開発試験を行う。

5) 広域種資源造成支援事業 【3,000千円】(全国豊かな海づくり協会事業)

広域に回遊する魚種の資源造成が円滑に行えるよう平成23年度に太平洋南海域栽培漁業推進協議会(千葉県～宮崎県)が設立され、神奈川・静岡・愛知・三重の4県は、トラフグを対象として共同で取り組んでいる。

当法人では、トラフグ種苗を8万尾生産し、6万尾を伊勢湾内に放流する。

3. 水産振興対策事業【予算額 3,732千円】

1) 外海域水産振興事業 【3,732千円】

沿岸漁業の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業等や県が整備した浮魚礁の管理に助成する。

また、もうかる漁業対策として真珠養殖業におけるプロジェクト事業の進行管理を担う。

2) 漁協経営再編基盤強化事業

県の専門委員会で承認された三重県漁協系統基盤強化スキームに基づき、資金の後年度負担金を関係各団体から徴求する。

4. 啓発普及事業【予算額 3,750千円】

栽培漁業の円滑な推進を図るため、伊勢湾地域栽培漁業推進協議会及び三重外海域栽培漁業推進協議会を開催し、放流用種苗の中間育成、放流場所、放流効果等に関する協議を行う。

また、水産物消費拡大促進協議会等の実施する魚食普及活動に協賛、助成するとともに、県民や児童による種苗放流への支援、成果報告会の開催及びみえ栽培漁業ニュースやホームページ等を通じて、県民へ水産生物資源の維持増大の重要性について情報提供を行う。

さらに、水産庁の事業である水産多面的機能発揮対策事業の推進にかかる業務を、県、市町、他関係機関と共同して取り組むこととする。

5. 資源増大実証事業【予算額 45,709 千円】

1) 地域展開促進事業【26,341 千円】

尾鷲センターで生産した、マダイ種苗 60 万尾を、同センターで 60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾口から三重外海域に放流する。

また、放流効果を把握するため、水研の指導のもと、関係者と協力し、主要市場における漁獲や価格及び混入率等の調査を実施する。

2) 特定海域展開事業【8,634 千円】

浜島センターで生産した、ヒラメ種苗 20 万尾を 3ヶ所で 70~80mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、放流効果を把握するため、主要市場で漁獲及び混入率等の調査を実施する。

3) 資源回復計画促進事業【10,734 千円】

浜島・尾鷲センターで生産したトラフグ種苗 28 万尾を、3ヶ所で 50~60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、主要市場で漁獲及び混入率等の調査を実施する。

6. 伊勢湾栽培漁業推進事業【予算額 72,562 千円】

1) 伊勢湾海域生物中間育成事業【63,320 千円】

伊勢湾北部中間育成場においてクルマエビ種苗 170 万尾、ヨシエビ種苗 200 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流する。

また、伊勢湾南部中間育成場では、ヒラメ種苗 13 万尾、トラフグ種苗 6 万尾、クルマエビ種苗 140 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流する。

なお、一部中間育成場で収容仕切れない 150 万尾のヨシエビについては、浜島センターで中間育成を行う。

2) 伊勢湾海域資源増大事業【3,294 千円】

伊勢湾海域の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業等に助成する。

3) 伊勢湾資源調査試験事業 【5,948 千円】

- (1) ガザミ種苗を浜島センターで生産、中間育成をして要望のある海域へ放流する。
- (2)、伊勢湾北部中間育成場において、二枚貝（アサリ、ハマグリ）の陸上飼育試験として、水質・餌料の環境の安定対策や適性収容密度の試験を実施するとともに、放流・養殖の適正化試験を実施する。この飼育にかかる調査研究を水研へ委託する。
- (3) 沿岸漁業の漁獲量が減少傾向にある中、マコガレイを伊勢湾に試験的に放流する。

7. 伊勢湾水産振興事業 【予算額 47,040 千円】

1) 海域環境対策事業 【5,000 千円】

伊勢湾海域の環境保全を図るために実施する流木等ゴミ被害対策や底質改善事業、藻場・干潟の再生事業及び環境保全の啓発普及事業等に助成する。

2) 水産資源管理増大事業 【5,000 千円】

伊勢湾海域の水産資源管理や資源増大を図るため、重要貝類の種苗放流事業、資源管理対策事業及び資源保護に必要な漁場造成事業等に助成する。

3) 漁業経営安定対策事業 【37,040 千円】

漁業経営の安定化を図るため、伊勢湾内の漁協等が実施する各種の共同利用施設整備事業等に助成する。

令和元年度 収支予算書

(単位：千円)

科 目	令和元年度 当初予算額	平成30年度 当初予算額	増 減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益	46,984	49,294	-2,310
基本財産（振興）受取利息	19,824	21,995	-2,171
基本財産（栽培）受取利息	17,816	17,806	10
基本財産（伊勢湾）受取利息	9,344	9,493	-149
特定資産運用益	26,414	26,953	-539
特定資産受取利息	26,414	26,953	-539
事業収益	188,679	228,231	-39,552
受託事業収益	61,558	61,592	-34
生産物等収益	127,121	166,639	-39,518
受取補助金等	2,100	2,700	-600
受取地方公共団体等補助金	2,100	2,700	-600
受取負担金	20,616	23,068	-2,452
受取負担金	20,616	23,068	-2,452
雑収益	3,322	3,839	-517
受取利息	3,322	3,839	-517
雑収益	0	0	0
経常収益計	288,115	334,085	-45,970
経常費用			
事業費	409,949	430,549	-20,600
役員報酬	4,400	4,400	0
給料手当	103,145	97,080	6,065
賃金	40,015	44,546	-4,531
退職給付費用	10,385	8,310	2,075
賞与引当金繰入額	7,216	6,793	423
福利厚生費	21,301	20,357	944
会議費	0	50	-50
旅費交通費	3,365	3,590	-225
通信運搬費	1,225	1,285	-60
減価償却費	9,723	11,293	-1,570
消耗品費	24,654	32,940	-8,286
修繕費	9,600	15,150	-5,550
印刷製本費	350	360	-10
燃料費	6,626	5,046	1,580
光熱水料費	27,052	28,780	-1,728
借損料	4,767	5,478	-711
原材料費	2,070	1,970	100
餌料費	24,034	27,775	-3,741
種苗費	21,216	21,551	-335
新聞図書費	316	316	0
租税公課	9,250	14,201	-4,951
保険料	970	1,050	-80
会費	40	36	4
助成金	52,040	65,500	-13,460

科 目	令和元年度 当初予算額	平成30年度 当初予算額	増 減
負担金	14,673	2,750	11,923
委託費	7,660	6,990	670
研修費	50	66	-16
備品費	400	0	400
手数料	3,406	2,886	520
管理費	4,675	4,786	-111
役員報酬	400	400	0
給料手当	2,092	2,016	76
賃金	322	322	0
福利厚生費	462	427	35
会議費	150	150	0
旅費交通費	450	450	0
通信運搬費	50	100	-50
消耗品費	80	80	0
印刷製本費	124	200	-76
燃料費	20	20	0
借損料	0	70	-70
図書購入費	30	30	0
保険料	115	115	0
会費	157	157	0
負担金	100	120	-20
研修費	33	50	-17
手数料	20	20	0
雑費	70	59	11
経常費用計	414,624	435,335	-20,711
評価損益等調整前当期経常増減額	-126,509	-101,250	-25,259
投資有価証券評価損益	0	0	0
投資有価証券売却益	0	0	0
評価損益計	0	0	0
当期経常増減額	-126,509	-101,250	-25,259
経常外増減の部			
受取負担金	180,000	180,000	0
経常外収益計	180,000	180,000	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	180,000	180,000	0
当期一般正味財産増減額	53,491	78,750	-25,259
一般正味財産期首残高	295,317	147,585	147,732
一般正味財産期末残高	348,808	226,335	122,473
指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	0	0	0
特定資産評価損益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,210,072	5,186,848	23,224
指定正味財産期末残高	5,210,072	5,186,848	23,224
正味財産期末残高	5,558,880	5,413,183	145,697

